

目標達成計画

H27年11月2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現在の運営推進会議は活発な意見交換がなされていない。会議メンバーの率直な意見を引き出すための工夫が必要である。	事業所の取組み内容や具体的な課題を話し合い、地域の理解と支援を得る為に、運営推進会議の趣旨の理解を深め、会議が活きるような工夫を行う。	* 会議のテーマ～施設が抱える課題や、会議メンバーに身近な興味のある内容で年間計画を立てることで、意見を引き出せるよう試みる。 * 会議メンバー～固定のメンバー以外にも、テーマに関係ある方に参加を呼び掛け内容の充実を図る。	12ヶ月
2	38	基本的な一日の流れはあるが、利用者本人のペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか希望に沿って支援したいが、転倒のリスクの高い方や不穏の強い方に支援が偏りがちである。行きたい所への外出はおろか買い物さえもままならない状況である。	一人ひとりの「その日」したいことを把握し、できるだけ個別性のある支援を行えるようにする。	* 業務の見直し・記録の改善を行い、短時間でも入居者の為の時間を捻出する。 * 病前の性格や生活歴を把握し、個別性のある支援が行えるように努める。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期を支えていく必要があるが、事業所としての対応力が確立していない。	本人家族の意向を踏まえ、医師・職員が連携しながらぬくもりらしい看取りを確立していく。	* 職員全体で話し合い、事業所としての対応力を把握する。 * 看取りの勉強会を繰り返し行っていく。 * 主治医との連携に努め、医療連携体制を整えていく。	12ヶ月
4	54	居室も含めフロア全体に生活感にかけ、お年寄りにとって、懐かしく感じたり、使いやすい物品などの調度品などが少ない。	居心地のいい生活空間作り。	* 利用者一人ひとりの感覚や価値観を大切にしながら、居心地のいい生活空間に何が必要か考え工夫を試みる。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。